

1 題材名 「夢と魔法の学校」 ～ストップモーション動画を撮ろう～

2 題材の目標

「夢と魔法の学校」というテーマを基に主題を生成し、ストップモーション動画による表現を考え、効果的な撮影の方法を工夫するとともに、他者の作品から、作者の表現意図や効果的な表現の工夫などを感じ取り味わう。

3 題材について

(1) 題材観

本題材では、タブレットPCを用いて、「夢と魔法の学校」をテーマに感性と想像力を働かせ、映像で表現する活動を行う。高等学校学習指導要領芸術の美術I内容A表現(3)イでは、「色光、視点、動きなどの映像表現の視覚的要素を工夫して表現の構想を練ること。」と示されている。本題材はストップモーション動画の撮影を通して、主題を表現するために色光、視点、動きなどの映像表現における視覚的要素について理解し、その表現効果を考えて工夫することで、心豊かな構想力の育成につながると考える。

(2) 生徒の実態

本校の第1学年*組の美術Iを選択した生徒は、男子*人、女子*人である。課題に対してしっかりと取り組む姿勢が見られ、美術への関心が高い。しかし、自ら発想し、表現の構想を練ることができると感じている生徒の数は多くない。第1学年*組の美術Iの選択者でアンケート調査を行ったところ、「表現するにあたって、想像したり発想したりすることが得意である」と答えた生徒が*人中*人、「得意ではない」と答えた生徒は*人という結果になった。この結果から、自ら発想し、表現の構想を練ることができるような手立てが必要であると考ええる。

(3) 指導観

本題材では発想や構想の能力を伸ばすために、3つの手立てを試みる。1つ目は、ストップモーション動画を鑑賞し、どのようなものか知ることによってイメージを高める。2つ目は、タブレットPCに触れながら、どのような視覚効果が期待できるのか自分でアイデアを出す。3つ目は、グループワークで内容と構成について意見を伝え合う。実際に撮影を繰り返し行い、その都度話し合い、構想を練り直す。自分の考えや意見を持ち、互いに関わり合うことを通して、発想や構想の能力を高め、主体的な表現活動ができると考える。

4 題材の評価規準

観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ストップモーション動画による表現に関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、表現方法や編集を工夫して表現したりしようとしている。 他者の作品に関心を持ち、主体的に作者の表現意図や効果的な表現の工夫などを感じ取り、理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「夢と魔法の学校」というテーマを基に、感性や想像力を働かせて、考えたり話し合ったりしたことから主題を生成し、カメラの動き、登場人物の演技、物語の構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現意図に応じてタブレットPCの特性を生かし、色光、カメラアングル、画面サイズ、場面のつなぎ方などを工夫して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の作品のよさや表現意図、表現の効果や工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。

5 指導と評価の計画 (12時間扱い)

次	時	●学習のねらい・学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 ()は評価方法
			関	発	技	鑑	
1	1	●ストップモーション動画について知る。 ・ストップモーション動画を鑑賞する。 ・タブレットPCに触れてみる。	○				・ストップモーション動画による表現に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 (観察)
2	2 3	●アプリケーションの機能を知る。 ●感性と想像力を働かせ、動画の構成・内容を考える。 ・ストップモーション撮影用のアプリケーションを使って撮影してみる。 ・どのようなストーリーにするか、内容・構成について話し合う。	○			○	・アプリケーションを用いた撮影方法に関心をもち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、表現方法を工夫して表現したりしようとしている。 (観察) ・感性や想像力を働かせて、考えたり話し合ったりしたことから主題を生成し、物語の構成などを工夫するなどして創造的な表現の構想を練っている。 (ワークシート)
3	4 ⑤ 本時 6 7	●撮影(リハーサル)を行い、表現方法を工夫する。 ●内容・構成を繰り返し練る。 ・ロケ地を決定し、リハーサルを行う。 ・撮影した動画を確認し、表現方法がより効果的になるように工夫し考えをワークシートにまとめる。 ・本番の撮影に向け、内容・構成の見直しを行い、リハーサルを繰り返し行う。			○	○	・思い描くストーリーを表現するために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。 (観察、制作途中の作品) ・主題を効果的に表現するために、ストップモーション動画の特性を生かし、工夫して創造的な表現の構想を練っている。 (観察、ワークシート)
4	8 9 10	●撮影から編集まで行き、表現意図に応じて色や字幕、BGMなどを効果的に工夫する。 ・撮影、編集を行う。 ・タイトルや字幕などを加える。 ・必要があればBGMを加える。			○		・表現意図に応じてタブレットPCの特性を生かし、色や字幕、BGM、場面のつなぎ方などを工夫して表現している。 (観察、作品)
5	11 12	●他の作品から表現の効果や工夫などを感じ取り、理解を深める。 ・完成した映像を発表し合い、鑑賞会を行う。 ・他の作品のよさや工夫を理解し、ワークシートにまとめる。	○			○	・他の作品を鑑賞することに関心をもち、主体的によさや意図、工夫に気付き、味わおうとしている。 (観察) ・他者の作品のよさや表現意図、表現の効果や工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。 (観察、ワークシート)

6 本時の学習

(1) 目標

主題を効果的に表現するために、表現方法を工夫したり、表現の構想を練り直したりする。

(2) 準備・資料

教師：ワークシート，タブレットPC

生徒：筆記用具，教科書

(3) 展開

段階	学習活動・内容	指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
導入 (5分)	<p>1 本時の学習内容を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 撮影してみよう</p> <p>② 内容と構成を練り直そう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで、本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配付し、本時の学習内容を伝え、見通しをもてるようにする。 ・校内ロケ地を確認し、生徒の行動を把握する。 ・前時までのよい点、注意すべき点を伝え、本時の課題を確認する。 ・片付けと集合時間を指示する。
展開 (35分)	<p>2 撮影を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内のロケ地に移動し、タブレットPCで撮影を行う。 ・アプリケーションの機能を試し、より効果的な表現を探る。 ・グループ内の全員が撮影、演技をする。 <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影、演技に参加しない。 ・タブレットPCを違う目的で使用する。 ・タブレットPCの操作の仕方が分からない。 <p>3 内容・構成の見直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影した動画を確認し、内容や構成を見直したうえで、表現方法や工夫について話し合う。 ・話し合ったり、考えをまとめたりしながら、撮影を繰り返し行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地を巡回し、それぞれのグループの進行状況に合わせて助言する。 ・タブレットPC，アプリケーションの操作について、質問があれば対応する。 <p>◎思い描くストーリーを表現するために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。</p> <p style="text-align: right;">（観察，制作途中の作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影回数を目安を設け、グループ内で役割のローテーションを決めるようにする。 ・タブレットPCの操作に慣れていない生徒が1つのグループに集中しないようにグループ分けを行う。 ・話し合いの時間をつくり、ワークシートを基に、内容や構成を見直すように助言する。 ・話し合いの様子を見て、必要であれば助言し、活発な言語活動を促す。 <p>◎主題を効果的に表現するために、ストップモーション動画の特性を生かし、工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p style="text-align: right;">（観察，ワークシート）</p>
まとめ (10分)	<p>4 本時を振り返り、次時の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片付けをし、ロケ地から戻る。 ・本時の振り返りをし、次時の学習の展開を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・片付けがしっかり行われているか、確認する。 ・集合時間が近付いてきたら、集合に遅れないように声かけを行う。 ・本時の学習の振り返りを行い、課題を明らかにすることで、次時への意欲がもてるようにする。